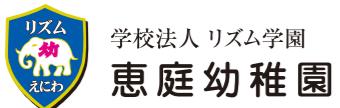


ENIWA
KINDERGARTEN SINCE 1958
ADMISSION GUIDE 2020

恵庭幼稚園



つよい身体と、
よい心を持った、
賢い子に育てます。



学校法人 リズム学園
恵庭幼稚園

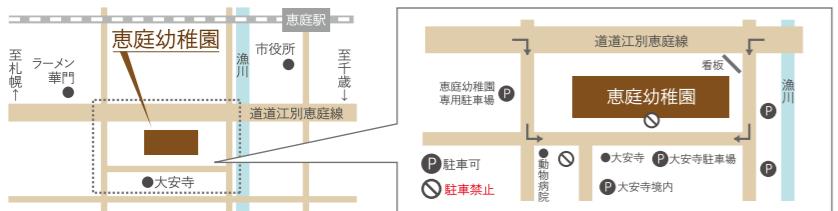
〒061-1424 北海道恵庭市大町4丁目1番11号
Tel:0123-33-2541(代) Fax:0123-33-2543

恵庭幼稚園 <http://www.eniwa-youchien.com>

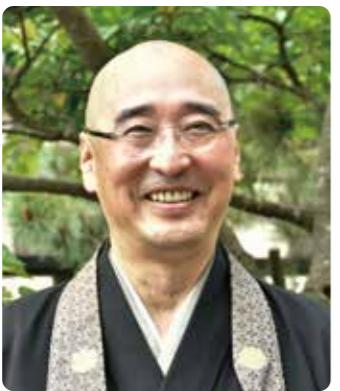
LINE公式アカウントのご案内



子育て支援に関するイベントやセミナーなどの案内を行います。
右のQRコードから登録をお願いいたします。



「仏の心」を育む。
佛教精神に立脚し、



理事長 押見 俊哉 先生

恵庭における最初の教育施設、私設簡易科・洞門小学校(明治21年創設、現・恵庭小学校)があった場所に設立された私たち恵庭幼稚園には、半世紀以上前の建学時から変わらない教育理念があります。それは、寺子屋のような自由闊達な雰囲気の中で、佛教の精神をもって子どもたちを教育し、心身共に健全な社会人としての人格形成の基礎を育成していくことです。多彩な教育活動や集団生活を通して、心を育て、豊かな情操を伸ばし、たくましい身体づくりと確かな学力の基礎を育んでいきます。当園では、教育目標に掲げた3つの子どもの姿を理想の幼児像として、佛教精神をもって豊かな人格形成に努めています。

教育目標

1. 生命を大切にする子ども(仏／慈心不殺)
2. 正しい生活を営める子ども(法／仏道成就)
3. よい社会を作り出す子ども(僧／正業精進)



同應子子子
道緣母覺啐
唱不俱無母
和錯忘殼啄

出典／香巌智闇禪師『伝灯録』

「啐」そつとは鳥の卵が孵化する時に、卵の中の雛鳥から殻をコツコツとつぐ事で、「啄」ふかとは親鳥が外側から殻をつづいて助けることをいいます。この雛鳥の内側からの啐と親鳥の外側からの啄とによって、殻が破れて雛鳥ひなどりが出てくるのです。

雛鳥の啐と親鳥の啄とが、同時同所でなければ雛鳥は生まれて来ません。「啐啄同時」そつくどうじという禅語にあるように、教育者と被教育者とが、互いに合して一体不離の関係にあって人格形成・人間形成がなされるのです。

※佛教精神を基盤とする当園においては、教育者である事の自覚と責任を肝に銘じ、教師と園児の関係の規範として常に確認出来るよう、この香巌智闇禪師の一首を玄関横に掲げています。



人格形成の基礎は3歳～8歳の経験の質で決まると言われています。

この時期に、自ら選び、自ら決め、自ら行動することで、子どもたちは“自分”をつくるのです。

恵庭幼稚園の幼児教育、それは将来にわたってたくましく生きる“自分”をつくる教育です。



子どもらしい子どもに育てたい

同年代の子どもと真剣にぶつかり合うこと。自分の身体を思いきり動かすこと。
想像力を働かせて何かに没頭すること。
時代が変化しても変わらない、子ども本来の姿が恵庭幼稚園にあります。



四季の自然と創り上げる生活

幼児期の子どもはすべてのこととに真っ直ぐで、素直な感性のまま生きています。
この真っ直ぐな子どもたちの感性をそのまま健やかに伸ばしていくよう、
四季の自然とともに幼稚園の生活を創り上げていきます。



自信を持って表現する力

子どもにとって絵や造形は言葉と同じ自己表現の一部です。
大人が見てスゴイのではなく、子どもが自信を持ってスゴイと胸をはれる
豊かな表現力を育んでいきます。



自らを生きる

子どもは皆、誰のものでもない自分を生きています。
大人はその姿を見て「子どもらしい」と言うのでしょうか。
「自らを生きる子どもは、自らを生きる大人になれる」
子どもが子どもらしく自らを生きる場所
それが恵庭幼稚園です。

育てたい子どもの姿

どろんこあそび、砂あそび、あそびはなんでも大好きで、友だちがたくさんいて、虫や動物や花が好き
ときどきけんかやチョッピリいたずらをして おかしいときは大笑い 悲しい紙芝居や童話の時には涙ぐみ
しかられたりするとしゅんとなり ほめられると有頂天となってよろこぶ
へんじ あいさつ しつけのけじめだけは しっかりして
目はきらきらと輝いている こんな子どもらしい子どもにそだてたいものである

倉橋 惣三 日本の幼児教育の父と呼ばれる大正時代の教育者。



「友達と毎日楽しく遊ぶ」そんな日々の中に「遊」「食」「智」のプログラムが織り込まれています。幼稚園での3年間を通して、子どもたちは世界を広げ、文化と出会い、「自分」をつくっていきます。

遊

よく遊ぶ子は、よく育つ

お腹がへるまで遊ぶ、疲れて寝るまで遊ぶ、自分が納得するまで遊ぶ。子どもは、遊ぶことを通して身体と心と頭をつくっていきます。本気で遊ぶから大きく育つ。遊びを中心にした保育が、恵庭幼稚園の教育プログラムです。



食

食を通して学ぶ“生活”と“文化”

「収穫した梅でジャムを作ろう」「間引いた大根はみそ汁で食べよう」『食』は『教育』の教材のためにあるのではなく、生活としてもっと子どもたちの身近にあるものです。四季の自然や生活に根ざした“食”的経験を通して、子どもたちの心身と智を育みます。

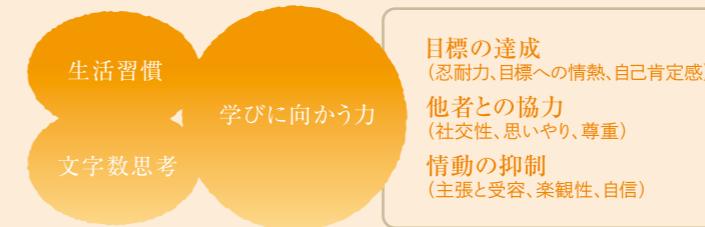
和食中心の給食 畑の活動(野菜づくり、米づくり) 食の経験(栽培、収穫、調理)



智

知と智“学びに向かう力”

すべての学びは意志から始まります。「やってみたい」「面白そう」という意欲は行動につながり、思いを伝え、集中したり、根気よく取り組む中で、工夫や発想が生まれます。知識や技術の習得と同じくらい、智慧につながる「学びに向かう力」を大切にしていきます。



教育カリキュラム

一人ひとりの育ちを支える 年齢別のカリキュラムと体制



「できないことができるようになる」「わからないことがわかるようになる」「気づかないことに気づくようになる」そうした経験が育ちであり、学びです。子ども一人ひとりの「できた」「わかった」と「やってみたい」を支えるため、各年齢の学びに応じた活動空間、教育内容、教員体制をつくり、教育を進めていきます。



こどもたちにとって
全てのことが学びです

恵庭幼稚園の子どもたちは、とにかく遊びます。北海道ならではの四季の変化を身体で感じながら、晴れている日は、太陽の日差しをあびながら園庭でのびのびと過ごします。

砂場遊びや木登りを1人で夢中になったり、友達と一緒に作る中でどんな土が固まりやすいかな?どうしたらピカピカ团子になるんだろう?と不思議に思うことから没頭して探求し科学的な事にもつながっています。

友達との関わりかたや遊びの中での不思議。1つ1つの関わりや遊びからたくさんの学びを得ている子どもたちです。



教育カリキュラム

教育内容	遊ぶ	学ぶ	育つ
	3歳(年少)	4歳(年中)	5歳(年長)
自律と自我の芽生えを培うために遊び込みます。	生活と創造の基礎基本を繰り返し学びます。	自分たちで生活を創り、豊かな表現力を培います。	
<ul style="list-style-type: none"> 身体を使って感覚を養う 素材に触れ五感を刺激する 自分の世界をつくる 仲間や周りを意識する 心を解放して遊び込む 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことを自分でする 生活習慣をみにつける 表現や運動技能の基礎基本を学ぶ 友達と協力してやり遂げる 自己の主張と抑制の力をつける 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊び環境を自分たちで創り出す 経験と感覚を活かし、遊びや活動を発展させる 文字、数量などを遊びや生活の中で使う 自律(自立)した生活を送る 完成や創造力を幅広い技能で表現する 知ることの楽しさ、探求する心を培う 	
活動空間	遊び部屋、全体活動部屋、教室、多目的スペース、ウッドデッキ	教室、プレイルーム、薪ストーブ空間、ウッドデッキ	教室、アトリエ、キッチン、和室、図書館、ホール、チャレンジコーナー、多目的スペース
活動スタイル	遊び込み(自由遊び)	遊びと習得(設定保育)	自ら動く(アクティブラーニング)
学級編成	15人(3クラス)	23人(2クラス)	23人(2クラス)
教員体制	チーム保育(学年8人)	担任制(1クラス2人)	チーム保育(学年5人)
教員配置	園児9人につき1人	園児12人につき1人	園児15人につき1人

3歳

遊びに没我できる環境と育ちを支える教員体制をとっています。



4歳

机とイスを基本にしたスタイルで「習う」ことを学びます。



5歳

「やりたい」が「できる」環境の中で“自ら生きる”生活を送ります。



その他のカリキュラム

- ◎体育／プール 専門講師による体育指導、スイミングクラブでのプール指導があります。
- ◎絵本／読み聞かせ 週1回の絵本貸出、ボランティアサークルによる読み聞かせ、図書館交流を行っています。
- ◎芸術鑑賞 人形劇、演劇鑑賞の他、弦楽四重奏による音楽鑑賞なども行っています。
- ◎畠の活動 学年毎に専用の畠で野菜を栽培、年長は水田でもち米を作り12月の餅つきで食べます。

COLUMN

チーム保育とは

1クラスを1人の先生がまとめて進めるのではなく、学年の先生がチームを組み、多様な活動を展開することをチーム保育と言います。複数の先生の目で子どもを見ることで、子どもの個性に応じた活

動やきめ細やかな指導を行うことができます。年少と年長はこのチーム保育を取り入れ、一人ひとりの主体性を育て、自分の頭で考え、判断し、行動できる子どもを育てています。

教育スタイル

“しつけのけじめだけは しっかりして
目はきらきらと輝いている
こんな子どもらしい子どもに育てたいものである”

※倉橋 惣三より引用 P4

遊びを中心とした教育が放任であってはいけません。寺子屋のような自由闊達な雰囲気の中で、礼儀作法をしっかりと教え、学ぶときは目を輝かせ、遊ぶときは夢中になって遊び込む、子どもらしい子どもに育てます。



斎藤 美玖 先生

「やってみたい!」が
「学び」になる

恵庭幼稚園には、子ども達がやりたい事に夢中になって挑戦できる環境があります。この環境の中で毎日見たり、考えたり…五感を目一杯つかって遊び込み、「やってみたい!」と思ったことなどとこんに挑戦してみる。失敗して、また挑戦して…このくり返しと積み重ねが「学び」へつながります。子ども達の「やってみたい!」気持ちに寄り添って3年間の成長を見守っていきます。



自主性／自発性

オープンスペースやアトリエなど、子どもの「やりたい」が「できる」環境の中で、自分がやりたことを仲間と一緒に思う存分取り組みます。子どもには子どもの世界があります。先生は必要以上に入らず、自分たちで考え、自ら動き、自ら学ぶ姿を見守っていきます。



野育(のいく)

真の学びは教室の中にはありません。それは幼児も同じです。
「子どもは野で育つ」小さなケガや友だちとのケンカも大切な経験です。仲間と群れて外で遊び、心が動く、驚きと発見、創造と挑戦の日々が子どもを育てていきます。

※夏は水遊び、泥遊び。冬はマイナス20度まで毎日外で遊びます。



礼儀作法／心の教育

遊びを中心とした教育が放任であってはいけません。毎日の生活の中で挨拶・返事・静粛などの礼儀を教え、坐禅や仏教行事を通して作法を教えます。そして、すべての教育活動の中心に仏教精神をもとにした「心の教育」を据え、命の尊さを感じ、命を大切にする温かい心を持った子どもを育てていきます。



COLUMN

教育と養護

歩けないから抱っこして動く。うまく話せないから親から先に話す。子どもが自分でできないことを大人が代わりにすることを『養護』といいます。0歳～2歳は養護が中心になるでしょう。しかし、一人で身支度ができ、気持ちを言葉で伝えられるようになる3歳からは『教育』が始まります。『教育』は自分でできることを増やす

ことです。靴を履く、鞄を持つ、着替えるなどの生活習慣から、思いを伝える、ルールを守るといった社会性の面まで「自分のことは自分でする」「自分で決めて、自分で動く」ことが教育につながります。大人は子どもの先回りをすることなく、失敗を許容しながら『教育』としての育ちと学びをゆっくりと見守っていきたいですね。

特色ある活動



浅野 大輝 先生

「食」の経験の大切さ

子ども達が育てる畑の野菜は話し合い活動の中で自分達で決めます。種や苗の購入も自分達で行い、水やり、雑草抜きなど一つ一つの経験を積み重ね、野菜が育つまでの過程を知ることができます。自然の恵みに感謝しながら仲間といっしょに収穫し、調理することで食の大切さを学んでいきます。四季の自然や毎日の生活のそばにある「食」の経験を通して、子ども達の心と体を育みます。



恵庭幼稚園だから、経験できる教育活動。

教科書のない学校である幼稚園は、多彩な教育活動が展開できます。自然から学ぶ「森の活動」、異文化を理解しコミュニケーションを楽しむ「英語教育」、自然の恵みに感謝し、命の大切さと日本の文化を学ぶ「食の活動」。数々の特色ある活動が豊かな幼児期の経験をつくります。



森の活動

幼稚園からバスで15分。9,600坪の「北清の森」は、子どもたちの大好きなフィールドです。春はフキと水芭蕉から始まり、夏はクワガタやヤマメ、秋は木の実と紅葉、そして冬は最高の雪遊び場に。はっきりとした四季の中、起伏のある山、自然のままの林や沢があります。本物の自然や生き物に触れる中で、実体験を大切にし、幼児の五感をフルに働かせて遊びます。(年中から月に2~3回行きます)



英語教育

幼児が言葉を覚えるのは、たくさん話しかけられるから。言葉を使う大人の姿を見ているから。そして、一生懸命使おうとするからです。恵庭幼稚園の英語教育は、ネイティブの先生が毎日、1日中幼稚園にいます。たくさん話しかけられ、先生達も英語を話し、自分も毎日使うことができる。日本語の言語習得と同じ状況をつくりながら、異文化理解とコミュニケーションを楽しんでいます。

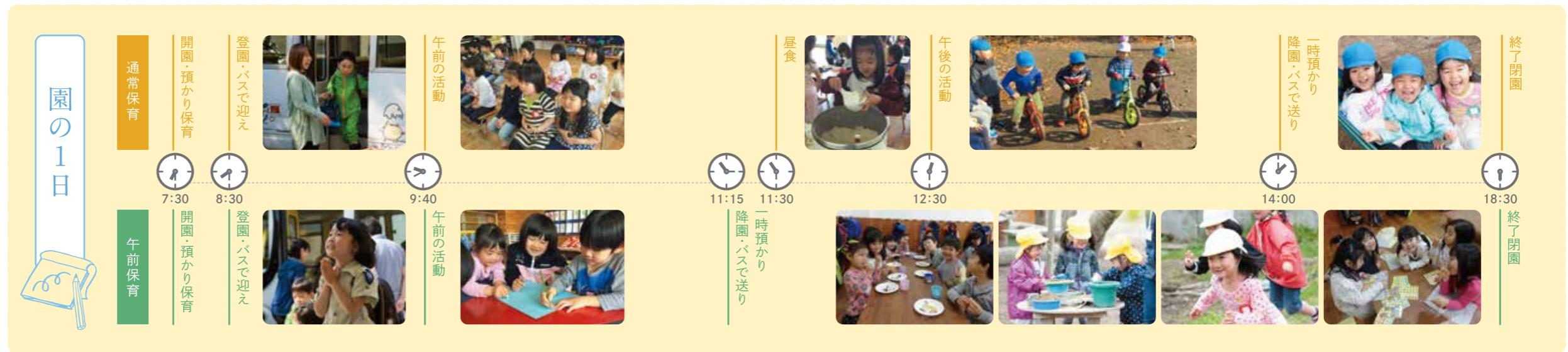


食の活動

大豆の芽が出る瞬間、ピーマンやなすびの花の色、稲穂の先にとまるトンボ。いずれも身近に畑がなければ見られない光景です。調理や口にすることだけが「食」ではありません。作物を育てる労作も「食」です。また園庭で実る梅や梨、栗など自然の恵みをいただく「食」、飼育した鶏の卵をいただく「食」もあります。四季の自然と創り上げる生活のすぐ側に特別ではない「食の活動」があります。



園の生活



恵庭幼稚園では、四季の自然とともに子どもたちの生活を創り上げていきます。春を探しに山へ行くかもしれません。夏の匂いを思い切り感じたり、秋の青く高い空の下、どこかへ出かけることも。大雪が降ったから雪像作りをすることがあるかもしれません。

子どもたちの心の動きによって年度当初には決められない創造的な行事がたくさんあります。

新緑芽吹き

万物成長の春

4月

- 始業式
- 入園式
- 個人懇談
- 参観日

5月

- 端午の節句
- 花まつり
- 田植え

真っ白な雲 青い空
汗と水と泥んこの夏

6月 7月 8月

- 運動会
- いちご狩り
- 七夕の節句
- 動物園遠足
- 夏祭り
- 夏期保育
(夏休み中)
- 避難訓練



月を愛で
豊かな稔りに感謝の秋

9月

- サケのふるさと館
- 参観日
- 稲刈り
- 十五夜
- お泊まり会

10月

- 人形劇

11月

- 表現の集い

12月

- 個人懇談
- 成道会
- もちつき

1月

- 人日の節句
- 鏡開き
- カルタ大会

2月

- 節分
- 混槃会
- 参観日

3月

- 上巳の節句
- 卒園を祝う会
- お別れ会
- 卒園式
- 終業式

しんしんと降る雪
白く降りつもる雪の冬

子どもが「生きる」空間・遊ぶ力に満ちた園庭

恵庭幼稚園の園庭・園舎は、毎日子どもたちの笑顔と歓声であふれています。「遊ぶ」ことを大切にし、その空間こそ日々よりよく柔軟に変化し続けます。地域が持つ風土や歴史・文化を育み、伝えていきたいと考えています。



春の芽吹き、夏は木々の緑と空の青。秋は紅葉の赤や稲穂の黄。冬は水点下の寒さ、雪の白。風や雲の動き雨の匂い。子どもたちはこの園庭で五感を目一杯働かせます。



父母参加／子育て支援



オヤジの会

できる人が、できる時に、できることをやる。参加してみたい気持ちが先で、参加できるか行動は後です。年一回の参加でも、参加できなくてもOK。子どもたちのために親も楽しいイベントを企画してオヤジも幼稚園を楽しみましょう!



共に育てる、共に楽しむ。
親も一緒に幼稚園を楽しもう!!



父母参加イベント 年間スケジュール



子育て支援サポートプログラム ~色々な関わり方で幼稚園を楽しみましょう!!~

走るの大好き、お外大好き1・2歳児

無料

親子広場にこにこ

広い遊戯室や園庭で思う存分走り回れます。おもしろい木製遊具もいっぱい。お母さんも「ダメ」「危ない」の言葉を忘れて、お子さんと一緒に楽しく遊んでください。子育て支援の先生が子育ての相談にも乗ってくれます。



対象 0歳～未就園児 曜日 毎週水曜日 費用 無料

※0歳児のみ対象の「赤ちゃんひろば」もあります

一緒に活動しませんか?

無料

いきいきママ企画

幼稚園とお母さんたちで企画・運営する活動です。学年やクラスの枠をこえ、さまざまな活動を通して、お母さん同士、交流します。「おすすめ絵本もりより会」「お手伝い隊」による奉仕活動、「子育て講座」など企画しています。



対象 地域の子育て中保護者 費用 無料(実費あり)

親がかかわる幼稚園

無料

保護者ボランティア

参観日や親子レクなどで園児の弟妹を預かる託児は、託児ボランティアのお母さんが先生と一緒に預かりします。また、北清の森での自然体験活動では、お母さんやお父さんが活動ボランティアとして参加しています。先輩ママとして、教育活動のサポートとして、幼稚園とかかわり楽しみましょう!



子どもを預かってほしい時は
一時預かり、託児、ファミサポ

お仕事や用事などで保育後も預かってほしい時は一時預かり(預かり保育)が利用できます。また、参観日や親子レクなどの時に弟妹のお子さんを託児(無料)でお預かりすることもできます。他にも急な用事や事情でどうしても0歳～2歳のお子さんを預かってほしい時は、恵庭市のファミリーサポートが幼稚園で利用可能など、多様な体制で子育てをサポートいたします。

※一時預かりとファミリーサポートは有料です

友だちがほしくなる2歳児

子ども教室

言葉が増えて色んな事が知りたくなる2歳児。週2回の午前中、お母さんと離れて幼稚園で遊びましょう。親子で楽しむ行事もたくさんあります。



対象 2歳児(各コース18名)

時間 9時45分～11時15分

曜日 月・木・火・金コース(通年)

主な行事 親子遠足・運動会

保育料 3,000円(月額)

卒園した後も楽しい放課後を

ONE STEP(学童保育)

子どもたちの「やってみたい!」

「おもしろそう!」を叶え、様々な活動を行います。月極の他に1日からの利用もできます。

対象 小学1年生～3年生(各学年10名)
時間 7時30分～18時30分
費用 1日1,000円、月極12,000円

プログラム

編み物、羊毛クラフト、デザインなど

音楽 バンド演奏、手作り楽器、ダンスなど

表現 ものづくり、映像、アートなど

体育 陸上競技、縄跳び、NEWスポーツなど

遊び 自然体験、昔遊び、宝探しなど

住 建築、木工、街歩き、インテリアなど

学び 理科実験、いのち、経済、安全など

食 料理、おやつ作り、農業体験など

文化 茶道、華道、書道、坐禅、落語、国際など

ONE STEPの一日

14:00 放課後スクール入室
15:00 宿題(学習支援)&おやつ
16:00 プログラム&自由遊び
17:00 お迎え
18:00



スタッフ紹介



私たちスタッフが、お子さまの成長を一生懸命お手伝いします。



園長
井内 聖 先生

木漏れ日のさす幼稚園の庭で、子どもたちの真剣な顔、たくらんだ顔、はじける笑顔、それを見守る先生達のまなざし。時代が変わつても変わらない学び舎の姿こそ恵庭幼稚園の教育の本質です。



副園長
清水 秀子 先生

いつも「すべては未来を担う子ども達のために」と、熱い気持ちで真剣に教育に取り組む先生たち。それが恵庭幼稚園の誇りです。



教頭
横道 由紀恵 先生

とにかく子どもの笑顔が大好きです。元気いっぱいの笑顔から癒しとパワーをもって毎日楽しく頑張っています。



主幹教諭
馬場 千賀子 先生

いっぱい笑って、泣いて、怒って…子ども達のありのままの姿を大切にしています!



FT
上別府 里紗 先生

「今この瞬間!!」のひと時ひと時を友達や教師そして様々な自然と分かち合い、共に学び共に育てていきたいです!



[教諭] 5歳児 たんちょう組
栗野 詩織 先生

子どもたちの成長に驚きながら、毎日を過ごしています。恵庭幼稚園では、楽しいことがいっぱい!みんなの事、待ってます!



[教諭] 5歳児 くじやく組
浅野 大輝 先生

子どもたちの個性を大切に、それぞれの個性が輝けるよう努めています。毎日全力で遊び、一緒に笑い、楽しく過ごしていきます!!



[教諭] 4歳児 うぐいす組
袖田 涼斗 先生

生活を通してよく食べ、よく遊び、よく学ぶ、また人と関わりを通してよく楽しみ、時には悲しみ、気持ちを分かち合う。これらを幼稚園でめいっぱい経験してほしいと思います!



[教諭] 4歳児 ひばり組
込山 真更 先生

子どもたちの毎日には発見がいっぱい。ワクワクするような環境作りで、子どもたちの「やってみたい!」「すごい!」を全力で応援するのが目標です。



[教諭] 4歳児 AT
小谷 美枝 先生

子どもたち1人ひとり違う、その子なりの「良いところ」に目を向けて伸ばしてあげられるよう、サポートしていきたいと思います。



[教諭] 4歳児 AT
西川 美希 先生

幼稚園が子ども達一人ひとりにとって「自分らしく安心して過ごせる場」となるように、毎日笑顔いっぱいでサポートしていきます!



[教諭] ALT
山崎 メラニー 先生

I want to expose the kids to English naturally through play.



[教諭] 3歳児 めじろ組
箱崎 可奈子 先生

1人ひとりの個性を大切に、子どもも大人も互いに尊重し合える関係でありたいです。「みんな違う、だから楽しい」そんな風に思える幼稚園生活になりますように!



[教諭] 3歳児 こまどり組
工藤 祐平 先生

子どもたちの「やりたい!」を一つひとつ受け入れ、子どもたちに寄り添つて、共に成長していきたいと思います。たくさんの笑顔が見たいです。



[教諭] 3歳児 ちどり組
栗本 真里那 先生

「今」を大切に、子ども達と「今」だから出来る事を一緒にしていきます!子どもの笑顔が大好きです!笑う門には福来る!



[教諭] 3歳児 AT
新保 友紀 先生

「楽しかった!」と感じてくれることが何よりも嬉しいです。毎日を楽しく。それが明日の「幼稚園に行きたい」思いに繋がってほしいです。



[教諭] 3歳児 AT
小村 寛子 先生

幼稚園には「楽しい」がいっぱい!子ども達にとっていつでもそんな場所になれるように、思いっきり遊び、一人ひとりの育ちを見守っています。



[教諭] 3歳児 AT
田中 法子 先生

幼稚園でたくさん遊び、泣いたり、怒ったり、笑ったり…その一瞬一瞬が大切な時間!子どもたちの絆を大切に保育します!



[教諭] 満3歳児 ことり組
渡邊 向子 先生

「僕、私ならきっと大丈夫!」そんな自信がそのままの子の根っことなるように、子どもと一緒に沢山遊び、遊びの中で失敗や挑戦を沢山していきたいと思います。



[教諭] 満3歳児 ことり組
本多 礼芽 先生

毎日発見があり、「今日幼稚園ですね!」とおうちでも話したくなるような楽しい幼稚園生活を送れるように元気いっぱい遊ぶことが目標です。



[教諭] 満3歳児 AT
小林 卷 先生

子ども達と共に楽しみ、共に笑って過ごしたいです。「幼稚園が大好き!」と思ってもらえるように頑張ります。



[教諭] 全学年 体育
高橋 大甫 先生

子ども達が繰り返す試行錯誤から得る学びを大切にしていきたいと思います。



[教諭] 5歳児 ほくちょう組
齊藤 美玖 先生

笑顔と元気をモットーに時に厳しく、時に優しく、日々変化していく子どもたちと楽しく生活していきたいと思っています。



[教諭] 5歳児 AT/特別支援コーディネーター
坂本 歩美 先生

笑顔と元気をモットーに常に厳しく、時に優しく、日々変化していく子どもたちと楽しく生活していきたいと思っています。



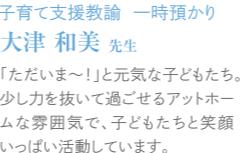
[教諭] 5歳児 ST
竹内 里恵 先生

I want the children to be able to pick up on physical cues to learn how to understand someone who speaks any language they don't, while picking up as much English as possible!



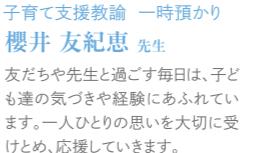
[教諭] 5歳児 ALT
Andrew Beckett 先生

I want the children to be able to pick up on physical cues to learn how to understand someone who speaks any language they don't, while picking up as much English as possible!



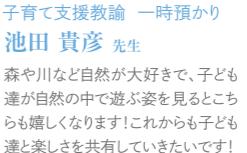
[教諭] 4歳児 かなりや組
立田 祐理 先生

無限大の未来がある子ども達に無限大の可能性を!子ども達がそれぞれの「好き!得意!」を見つけ思い切り自分を表現すること大切にしています!



[教諭] 子育て支援教諭 一時預かり
櫻井 友紀恵 先生

友だちや先生と過ごす毎日は、子ども達が自然の中で遊ぶ姿を見るところからも嬉しくなります!これからも子ども達と楽しさを共有していきたいです!



[教諭] 子育て支援教諭 一時預かり
池田 貴彦 先生

森や川など自然が大好きで、子ども達が自然の中で遊ぶ姿を見るとこちらも嬉しくなります!これからも子ども達と楽しさを共有していきたいです!



[事務員]
杉山 浩二 先生

子ども達の元気な挨拶をいつも微笑ましく思います。安全運転を心がけます。

安全管理

安全・安心を考えながら、 環境へのやさしさも大切にしています。

仏教の教えでは、「子どもは皆、大切な仏の子」一人ひとりが一つしかない大切な命を持っています。その命を輝かせるために、不審者、事故、災害などからしっかりと守り、安心できる環境の中で安全な食や教材を使用して、心身ともに健やかな子どもを育てています。



元気で健やかに育ってもらうために 食の安全・健康対策

本園では週3回の給食を実施。主食となる米は「恵庭産」のものを自園で炊飯しています。食材は主に道内産の安全なものを使い、添加物等の使用はできる限り控えています。また、園で使用している石けんや教材教具は、化学物質を一切含まない製品にするなど、アレルギーなどにも配慮しています。



不審者の侵入防止対策を徹底 セキュリティ・安全対策

正面の通用口には監視モニター付のオートロック電子錠にて施錠。さらに、園内には記録式防犯カメラも設置しており、24時間体制で園内の環境を見守っています。

その他にも…

- 警察指導による不審者訓練
- 消防指導による火災訓練
- 北海道シェイクアウトへの参加
- ALSOKによる安全教室
- 保護者対象のAED教室



安全管理マニュアル

万一の事故や危険なども考えて 送迎時の安全

登降園上の危険などを考えて全園児を自宅付近までバスで送迎しています。送迎4コースで使用する5台のバスは、すべて幼児用シートベルトとドライブレコーダーを装備した幼児専用車両を使用しています。



持続可能エネルギーを使用し循環型社会を推進 環境への取り組み

薪ストーブで使用した北清の森の木を再生するため、年少がドングリから苗木を育て、年長の時に植樹します。また家庭の廃油を回収し、バイオディーゼル燃料へのリサイクル事業にも協力しています。限りあるエネルギーを持続可能な形で使用し、循環型社会の形成を推進しています。



災害等の危機管理体制も整備 緊急時の対応

園内にAED(自動対外式除細動器)を設置し、先生方は使い方を含め救命救急講習を受講しています。また、緊急地震速報機を園内各所に複数台設置。緊急時に保護者との連絡を迅速に行う携帯電話のメール機能を利用した連絡システムも導入しています。



災害に強い施設づくり 防災対策

防衛庁施設として建てられた園舎は十分な耐震性を保持しています。また、ライフラインが止まても地下水による井戸と非常用発電機により水と電気を確保。冬期も電気を使用しない薪ストーブの設置により暖を取ることができます。



緊急事態発生直後、
すぐにメールを送信します。

緊急事態発生直後、すぐにメールを送信します。

- 大地震
- 大火
- 不審者 等



ご自宅のPC 携帯電話